

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 10190993 A

(43) Date of publication of application: 21 . 07 . 98

(51) Int. Cl

H04N 1/21
H04N 1/32

(21) Application number: 08343634

(22) Date of filing: 24 . 12 . 96

(71) Applicant: TOSHIBA CORP

(72) Inventor:
SAITO AKIRA
KAMIYAMA TADANOBU
TAKAGI SHIRO
OGAKI TAKESHI
IWASE AKINORI
TAKEDA YOSHIKO
TANIGUCHI MASAHICO

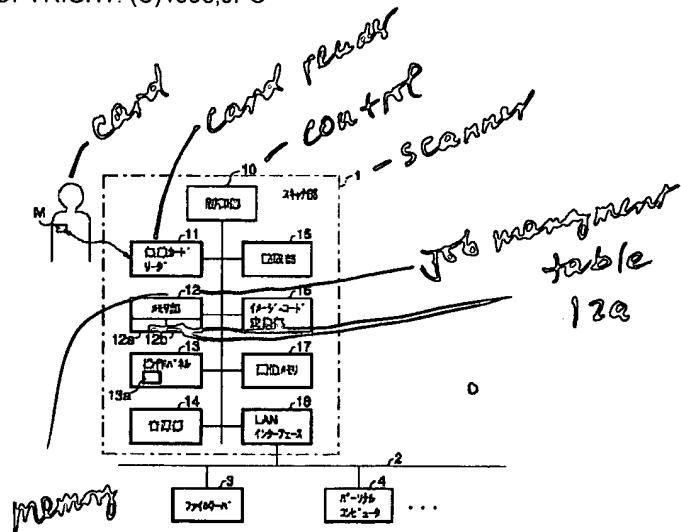
(54) IMAGE INPUT SYSTEM AND IMAGE INPUT METHOD

part 13a.

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To execute an appropriate processing corresponding to the setting of respective users, without requesting excessive operations to the user or lowering security by reading the information of the terminal of a transmission destination corresponding to an ID number owned by the user and performing transmission to the terminal of the transmission destination corresponding to the read information.

SOLUTION: When the user holding a radio card M approaches a scanner part 1, a radio card reader 11 receives transmission data from the radio card M. A control part 10 judges whether or not it is the radio card M which can be handle in the scanner part 1 based on the transmission data. At the time of judging that it can be handled by radio card M, the control part 10 compares the ID number inside the transmission data with the ID number of the job management table 12a of a memory part 12. As a result of the comparison, in the case that the matching ID number is present, the control part 10 reads the contents of a job as storage contents corresponding to the ID number from the job management table 12a and displays an icon for selection, corresponding to the contents of the job at a display



Best Available Copy

特開平10-190993

(43)公開日 平成10年(1998)7月21日

(51)Int.Cl.⁶H 0 4 N 1/21
1/32

識別記号

F I

H 0 4 N 1/21
1/32

Z

審査請求 未請求 請求項の数 8 OL (全 11 頁)

(21)出願番号 特願平8-343634

(22)出願日 平成8年(1996)12月24日

(71)出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72)発明者 斎藤 明

神奈川県川崎市幸区柳町70番地 株式会社
東芝柳町工場内

(72)発明者 神山 忠信

神奈川県川崎市幸区柳町70番地 株式会社
東芝柳町工場内

(72)発明者 高木 志郎

神奈川県川崎市幸区柳町70番地 株式会社
東芝柳町工場内

(74)代理人 弁理士 鈴江 武彦 (外6名)

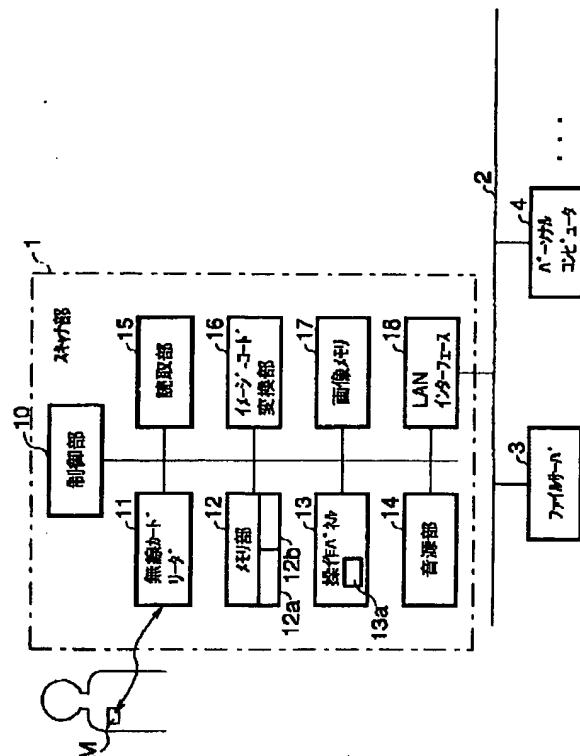
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 画像入力システムおよび画像入力方法

(57)【要約】

【課題】 この発明は、複数のユーザが使用するスキヤナ部で画像を入力するとき、ユーザに余分な操作を要求したりあるいはセキュリティを低下させることなく、各ユーザの設定に応じた適切な処理を実行できる。

【解決手段】 この発明は、ユーザが携帯する無線カードのユーザIDを読み取ることでユーザを識別し、この識別したユーザIDに対応する保存先ディレクトリへ送信、保存するようにしたものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像を読取る読み取り装置とこの読み取り装置からの読み取り画像が通信回線を介して送信される端末となる画像入力システムにおいて、
上記読み取り装置が、
ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからのID番号を受信する受信手段と、
画像を読取る読み取り手段と、
ID番号ごとの送信先の端末を特定する情報を記憶する記憶手段と、
上記受信手段により受信したID番号に対応する送信先の端末の情報を上記記憶手段から読み出す読み出手段と、
この読み出手段により読み出した情報に応じた送信先の端末に上記読み取り手段により読み取った読み取り画像を通信回線を介して送信する送信手段とからなる、
ことを特徴とする画像入力システム。

【請求項2】 画像を読取る読み取り装置とこの読み取り装置からの読み取り画像が通信回線を介して送信される端末となる画像入力システムにおいて、
上記読み取り装置が、
ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからのID番号を受信する受信手段と、
画像を読取る読み取り手段と、
ID番号ごとの種々の画像入力ジョブの内容を記憶する記憶手段と、
上記受信手段により受信したID番号に対応する種々の画像入力ジョブの内容を上記記憶手段から読み出す読み出手段と、
この読み出手段により読み出した種々の画像入力ジョブの内容に対応した選択画面を表示する表示手段と、
この表示手段により表示された選択画面により画像入力ジョブを選択する選択手段と、
この選択手段により選択された画像入力ジョブに対応して上記読み取り手段により読み取った読み取り画像を通信回線を介して送信する送信手段とからなる、
ことを特徴とする画像入力システム。

【請求項3】 画像を読取る読み取り装置とこの読み取り装置からの読み取り画像が通信回線を介して送信される端末となる画像入力システムにおいて、
上記読み取り装置が、
ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからのID番号を受信する受信手段と、
画像を読取る読み取り手段と、
ID番号ごとに1つの送信先の端末を特定する情報を記憶する記憶手段と、
上記受信手段により受信したID番号に対応する送信先の端末の情報を記憶手段から読み出す読み出手段と、
この読み出手段により読み出した送信先の端末に上記読み取り手段により読み取った読み取り画像を通信回線を介して送信する送信手段とからなる、

ことを特徴とする画像入力システム。

【請求項4】 画像を読取る読み取り装置とこの読み取り装置からの読み取り画像が通信回線を介して送信される端末となる画像入力システムにおいて、
上記読み取り装置が、
ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからのID番号を受信する受信手段と、
画像を読取る読み取り手段と、

10 ID番号ごとに複数の送信先の端末を特定する情報を記憶する記憶手段と、

上記受信手段により受信したID番号に対応する複数の送信先の端末の情報を記憶手段から読み出す読み出手段と、
この読み出手段により読み出した複数の送信先の情報に応じて端末の1つを選択する選択手段と、

この選択手段により選択された送信先の端末に上記読み取り手段により読み取った読み取り画像を通信回線を介して送信する送信手段とからなる、

ことを特徴とする画像入力システム。

【請求項5】 画像を読取る読み取り装置とこの読み取り装置からの読み取り画像が通信回線を介して送信される端末となる画像入力システムにおいて、
上記読み取り装置が、
ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからのID番号を受信する受信手段と、
画像を読取る読み取り手段と、

20 ID番号ごとのメール等の種々の画像入力ジョブを記憶する記憶手段と、
上記受信手段により受信したID番号に対応する種々の画像入力ジョブの内容を上記記憶手段から読み出す読み出手段と、

この読み出手段により読み出した種々の画像入力ジョブの内容に対応した選択画面を表示する表示手段と、
この表示手段により表示された選択画面により画像入力ジョブを選択する選択手段と、

この選択手段によりメールが選択された際に、上記読み取り手段により読み取った読み取り画像から複数の宛先を抽出する抽出手段と、

この抽出手段により抽出された複数の宛先へ上記読み取り手段により読み取った複数の宛先以外の読み取り画像を通信回線を介して送信する送信手段とからなる、

ことを特徴とする画像入力システム。

【請求項6】 画像を読取る読み取り装置とこの読み取り装置からの読み取り画像が通信回線を介して送信される端末となる画像入力システムにおいて、
上記読み取り装置が、
ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからのID番号を受信する受信手段と、
画像を読取る読み取り手段と、

40 ID番号ごとの種々の画像入力ジョブの内容と送信先の端末を特定する情報を記憶する記憶手段と、

この記憶手段により読み出されたID番号に対応する送信先の端末に上記読み取り手段により読み取った読み取り画像を通信回線を介して送信する送信手段とからなる、
ことを特徴とする画像入力システム。

【請求項7】 画像を読取る読み取り装置とこの読み取り装置からの読み取り画像が通信回線を介して送信される端末となる画像入力システムにおいて、
上記読み取り装置が、
ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからのID番号を受信する受信手段と、
画像を読取る読み取り手段と、

50 ID番号ごとの種々の画像入力ジョブの内容と送信先の端末を特定する情報を記憶する記憶手段と、

上記受信手段により受信したID番号に対応する種々の画像入力ジョブの内容を上記記憶手段から読出す第1の読出手段と、

この第1の読出手段により読出した種々の画像入力ジョブの内容に対応した選択画面を表示する表示手段と、

この表示手段により表示された選択画面により画像入力ジョブを選択する選択手段と、

この選択手段により選択された画像入力ジョブに対応して上記受信手段により受信したID番号に対応する送信先の端末の情報を記憶手段から読出す第2の読出手段と、

この第2の読出手段により読出した送信先の情報に対応した端末に上記読み取り手段により読み取った読み取った画像を通信回線を介して送信する送信手段とからなる、ことを特徴とする画像入力システム。

【請求項7】 画像を読み取る読み取装置とこの読み取装置からの読み取画像が通信回線を介して送信される端末とかなる画像入力システムにおける画像入力方法であつて、

ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからID番号を受信するステップと、

画像を読み取るステップと、

ID番号ごとの送信先の端末を特定する情報を記憶した記憶手段から、上記受信ステップにて受信したID番号に対応する送信先の端末の情報を読み出すステップと、読み出した情報に応じた送信先の端末に上記読み取画像を上記通信回線を介して送信するステップとからなる、ことを特徴とする画像入力方法。

【請求項8】 画像を読み取る読み取装置とこの読み取装置からの読み取画像が通信回線を介して送信される端末とかなる画像入力システムにおける画像入力方法であつて、

ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからID番号を受信するステップと、

画像を読み取るステップと、

ID番号ごとの画像入力ジョブの内容を記憶した記憶手段から、上記受信ステップにて受信したID番号に対応する画像入力ジョブを読み出すステップと、読み出した情報に応じた選択画面を表示するステップと、

上記表示された選択画面の中から選択された画像入力ジョブに対応して、上記読み取り手段により読み取った画像を上記通信回線を介して送信するステップとからなる、

ことを特徴とする画像入力方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、スキャナからの入力画像をLAN(ローカルエリアネットワーク)を介して、ファイルサーバやユーザのパーソナルコンピュー

タへ送信する画像入力システムおよび画像入力方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、スキャナからの入力画像をLAN(ローカルエリアネットワーク)を介して、ファイルサーバやユーザのパーソナルコンピュータへ送信する画像入力システムが実用化されている。

【0003】 上記スキャナは、複数のユーザが共有して使用するようになっている。このため、入力された画像情報がどのユーザが入力したものであるかを識別するために、たとえば、次のような方法が必要である。

【0004】 1) 方法：入力された画像情報をとりあえず共有ディレクトリ(アクセス権：すべてのユーザ)に送信・保存し、その後各ユーザが端末を操作するなどして自分の入力した文書を共有ディレクトリから各自のディレクトリ(アクセス権：そのユーザのみ)に移動する。

【0005】 問題：画像情報が共有ディレクトリにある間は他のユーザからもアクセス可能であるため、重要文書を扱うときなどにセキュリティが確保できない。

2) 方法：スキャナの操作パネルからユーザIDを入力する、あるいはスキャナにカードリーダを設けユーザのIDカードを読み取らせるなどの方法でユーザを識別し、予め設定した各自のディレクトリに送信・保存する。

【0006】 問題：コントロールパネルやカードリーダで余分な操作が必要になる。

3) 方法：ユーザIDや保存先ディレクトリを記入した指示シートを入力画像に添付して入力し、指示シートを解釈してユーザを識別する。

【0007】 問題：毎回指示シートが必要になる。OCRなど指示シートを解釈する機能が必要になる、あるいは解釈エラーで誤動作することも考えられる。したがって、複数のユーザが使用するスキャナで画像を入力するとき、ユーザに余分な操作を要求したりあるいはセキュリティを低下させることなく、各ユーザの設定に応じた適切な処理を実行できるものが要望されている

【0008】

【発明が解決しようとする課題】 上記したように、複数のユーザが使用するスキャナで画像を入力するとき、ユーザに余分な操作を要求したりあるいはセキュリティを低下させることなく、各ユーザの設定に応じた適切な処理を実行できるものが要望されているもので、複数のユーザが使用するスキャナで画像を入力するとき、ユーザに余分な操作を要求したりあるいはセキュリティを低下させることなく、各ユーザの設定に応じた適切な処理を実行できる画像入力システムおよび画像入力方法を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】 この発明は、画像を読み取る読み取装置とこの読み取装置からの読み取画像が通信回線を

介して送信される端末とからなるものにおいて、上記読み取り装置が、ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからのID番号を受信する受信手段、画像を読み取る読み取り手段、ID番号ごとの送信先の端末を特定する情報を記憶する記憶手段、上記受信手段により受信したID番号に対応する送信先の端末の情報を上記記憶手段から読み出す読み出手段、この読み出手段により読み出した情報に応じた送信先の端末に上記読み取り手段により読み取った読み取り画像を通信回線を介して送信する送信手段からなる。

【0010】この発明は、画像を読み取る読み取り装置とこの読み取り装置からの読み取り画像が通信回線を介して送信される端末とからなるものにおいて、上記読み取り装置が、ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからのID番号を受信する受信手段、画像を読み取る読み取り手段、ID番号ごとの種々の画像入力ジョブの内容を記憶する記憶手段、上記受信手段により受信したID番号に対応する種々の画像入力ジョブの内容を上記記憶手段から読み出す読み出手段、この読み出手段により読み出した種々の画像入力ジョブの内容に対応した選択画面を表示する表示手段、この表示手段により表示された選択画面により画像入力ジョブを選択する選択手段、この選択手段により選択された画像入力ジョブに対応して上記読み取り手段により読み取った読み取り画像を通信回線を介して送信する送信手段からなる。

【0011】この発明は、画像を読み取る読み取り装置とこの読み取り装置からの読み取り画像が通信回線を介して送信される端末とからなるものにおいて、上記読み取り装置が、ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからのID番号を受信する受信手段、画像を読み取る読み取り手段、ID番号ごとに1つの送信先の端末を特定する情報を記憶する記憶手段、上記受信手段により受信したID番号に対応する送信先の端末の情報を記憶手段から読み出す読み出手段、この読み出手段により読み出した情報に応じた送信先の端末に上記読み取り手段により読み取った読み取り画像を通信回線を介して送信する送信手段とからなる。

【0012】この発明は、画像を読み取る読み取り装置とこの読み取り装置からの読み取り画像が通信回線を介して送信される端末とからなるものにおいて、上記読み取り装置が、ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからのID番号を受信する受信手段、画像を読み取る読み取り手段、ID番号ごとに複数の送信先の端末を特定する情報を記憶する記憶手段、上記受信手段により受信したID番号に対応する複数の送信先の端末の情報を記憶手段から読み出す読み出手段、この読み出手段により読み出した複数の送信先の情報を応じて端末の1つを選択する選択手段、この選択手段により選択された送信先の端末に上記読み取り手段により読み取った読み取り画像を通信回線を介して送信する送信手段からなる。

【0013】この発明は、画像を読み取る読み取り装置とこの

読み取り装置からの読み取り画像が通信回線を介して送信される端末とからなるものにおいて、上記読み取り装置が、ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからのID番号を受信する受信手段、画像を読み取る読み取り手段、ID番号ごとのメール等の種々の画像入力ジョブを記憶する記憶手段、上記受信手段により受信したID番号に対応する種々の画像入力ジョブの内容を上記記憶手段から読み出す読み出手段、この読み出手段により読み出した種々の画像入力ジョブの内容に対応した選択画面を表示する表示手段、この表示手段により表示された選択画面により画像入力ジョブを選択する選択手段、この選択手段により選択された画像入力ジョブを抽出する抽出手段、この抽出手段により抽出された複数の宛先へ上記読み取り手段により読み取った複数の宛先以外の読み取り画像を通信回線を介して送信する送信手段からなる。

【0014】この発明は、画像を読み取る読み取り装置とこの読み取り装置からの読み取り画像が通信回線を介して送信される端末とからなるものにおいて、上記読み取り装置が、ユーザが所持しているID番号が記憶されている無線カードからのID番号を受信する受信手段、画像を読み取る読み取り手段、ID番号ごとの種々の画像入力ジョブの内容と送信先の端末を特定する情報を記憶する記憶手段、上記受信手段により受信したID番号に対応する種々の画像入力ジョブの内容を上記記憶手段から読み出す第1の読み出手段、この第1の読み出手段により読み出した種々の画像入力ジョブの内容に対応した選択画面を表示する表示手段、この表示手段により表示された選択画面により画像入力ジョブを選択する選択手段、この選択手段により選択された画像入力ジョブに対応して上記受信手段により受信したID番号に対応する送信先の端末の情報を記憶手段から読み出す第2の読み出手段、この第2の読み出手段により読み出した送信先の情報を応じた端末に上記読み取り手段により読み取った読み取り画像を通信回線を介して送信する送信手段からなる。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施形態について図面を参照して説明する。図1は、この発明の画像入力システムを説明するための図である。この画像入力システムは、スキャナ部1とこのスキャナ部1とLAN(通信回線)2を介して接続されているファイルサーバ3、および複数台のパーソナルコンピュータ4、…とから構成されている。ファイルサーバ3は、ユーザ独自のデータあるいはユーザ共有のデータを格納するものである。パーソナルコンピュータ4は、ユーザが個人的に使用しているものである。

【0016】スキャナ部1は、近付いたユーザが所持している無線カードMに基づいて認証を行い、この認証結果に基づいて原稿の読み取り内容を、LAN2を介してファイルサーバ3やパーソナルコンピュータ4に送信する

ものである。上記無線カードMは、たとえばユーザの胸部のポケット等に挿持されている。

【0017】すなわち、スキャナ部1は、スキャナ部1の全体を制御する制御部10が設けられている。この制御部10には、無線カードMとの間でデータのやり取り(送受信)を行う無線カードリーダ11、制御プログラムが記憶されるとともに種々のテーブルを有するメモリ部12、種々の操作案内を行う表示部13aとこの表示部13aに表示されているアイコンにより入力が行われるタッチパネル等からなる操作パネル13、スピーカ等からなる電子音を発する音源部14、原稿画像のイメージデータを読み取る読み取部15、ワープロ文書等のイメージデータを文字コードの文書データに変換するイメージコード変換部16、読み取部15により読み取ったイメージデータを記憶する画像メモリ17、およびLAN2を介してファイルサーバ3やパーソナルコンピュータ4に対してデータを出力するLANインターフェース18が接続されている。

【0018】メモリ部12は、ID番号ごとのジョブの内容が記憶されるジョブ管理テーブル12aと認証ファイルとしてのID番号ごとの保存先ディレクトリ等のユーザデータが記憶されるディレクトリ管理テーブル12bとを有している。ジョブ管理テーブル12aには、図2に示すように、各ID番号ごとのジョブの内容として、たとえばテキストテキスト化、ワープロテキスト化、メール送信が記憶されている。ディレクトリ管理テーブル12bには、図3に示すように、各ID番号ごとのユーザデータとしての所属、氏名、保存先ディレクトリ、保存先履歴が記憶されている。

【0019】このID番号、所属、氏名、保存先ディレクトリ、保存先履歴等は、あらかじめスキャナ部1の管理者が操作パネル13のキー(図示しない)等を用いて設定するようになっている。

【0020】上記操作パネル13の表示部13aには、図4に示すように、ジョブ(アイコン)の選択画面が表示されたり、図5に示すように、ID番号の認証時の認証OKと、保存先ディレクトリと、他のディレクトリとを示す認証画面が表示されたりするようになっている。

【0021】上記表示部13aのアイコンは、操作パネル13のカーソルキー(図示しない)により選択するようにも良い。上記読み取部15は、原稿載置台に載置された原稿を原稿載置台の下部の読み取り手段の読み取り走査により読み取ったり、あるいは原稿挿入口からの原稿挿入に基づいて原稿を搬送しながら読み取り走査するものとなっている。原稿載置台に原稿が載置されるものは、操作パネル13のスタートキー(図示しない)の投入により読み取りが開始され、原稿の搬送により読み取りが行われるもの、原稿の挿入口への挿入により読み取りが開始されるようになっている。

【0022】上記原稿としては、ジョブがメールの場合

に、図6に示すように所定領域にメールの複数の送信先(宛先)が記載されている。制御部10は、無線カードリーダ11を用いて、常に無線カードMに対する問合せ信号を送信しており、この問合せ信号に対する無線カードMからの送信データを受信し、この受信した送信データによりこのスキャナ部1で扱える正当な無線カードMであるか否かを判定するようになっている。

【0023】制御部10は、正当な無線カードを判定した際に、送信データ内のID番号(ユーザID)とメモリ部12のジョブ管理テーブル12aのID番号とを比較し、一致するID番号があった場合に、そのID番号に対応するジョブの内容を読み出し、この読み出したジョブの内容に対応した選択用のアイコンを操作パネル13内の表示部13aで表示するとともに、音源部14により認証OKを示す「ピー」という電子音を発するようになっている。

【0024】制御部10は、上記ジョブの選択に対して、テキストモード、ワープロモード、メールモード等を判断し、この判断したモードに対応した処理を行うようになっている。

【0025】また、制御部10は、ジョブ管理テーブル12aに一致するID番号がなかった場合、送信データ内のID番号とメモリ部12のディレクトリ管理テーブル12b内のID番号とを比較し、一致するID番号があった場合に、そのID番号に対応する所属、氏名、保存先ディレクトリ、保存先履歴を読み出して表示部13aで表示するとともに、音源部14により認証OKを示す「ピー」という電子音を発するようになっている。

【0026】上記無線カードMは、図7に示すように、CPU20、メモリ21、アンテナ22、スイッチ23、変調・復調部24、入出力制御部25、整流部26、蓄電池27などによって構成されている。これらのうちアンテナ22、蓄電池27を除く各部は集積回路化され無線カードMの本体内に埋設されている。

【0027】CPU20は、無線カードMの全体を制御するものである。メモリ21は、制御プログラム等が記憶されるとともに、各種データの記憶に用いられるものであり、ID番号および無線カードMを携帯するものの情報などが記憶される。アンテナ22は、無線カードリーダ11との間で電波による送受信を行うものである。スイッチ23は、アンテナ22を変調・復調部24あるいは整流部26に対して選択的に切換え接続するものであり、CPU20によって制御される。

【0028】変調・復調部24は、送信信号を変調したり、受信信号の復調を行ふものである。入出力制御部25は、送信データを規定の信号に変換したり、復調された受信データを規定の信号に変換したりするものである。整流部26は、アンテナ20を介して受信した充電電波を整流して電気エネルギーに変換しその電気エネルギーによって蓄電池27を充電するものである。蓄電池27

は各部に動作電圧を供給する動作電源であり、充電可能なものである。

【0029】上記無線カードリーダ11は、図8に示すように、CPU30、メモリ31、アンテナ32、変調・復調部33、入出力制御部34などにより構成されている。

【0030】CPU30は、無線カードリーダ11の全体を制御するものである。メモリ31は、制御プログラム等が記憶されているとともに、各種データの記憶に用いられる。アンテナ32は、無線カードMとの間で電波による送受信を行うものである。変調・復調部33は、送信信号を変調したり、受信信号の復調を行うものである。入出力制御部34は、送信データを規定の信号に変換したり、復調された受信データを規定の信号に変換したりするものである。

【0031】次に、上記のような構成において、画像入力処理について、図9、図10に示すフローチャートを参照しつつ説明する。すなわち、制御部10は無線カードリーダ11から無線カードMに対する問合せ信号を送信している、ユーザ待ちモードとなる(ST1)。

【0032】この状態で、胸部に無線カードMを保持したユーザがスキャナ部1に接近し、無線カードMと無線カードリーダ11とが無線通信可能になる。すると、無線カードMは、問合せ信号を受信し、この受信に応答してメモリ21に記憶されているID番号を含む送信データを無線カードリーダ11に送信する。

【0033】無線カードリーダ11が無線カードMからの送信データを受信する(ST2)。すると、無線カードリーダ11はその送信データを制御部10へ出力する。

【0034】制御部10は送信データに基づいてこのスキャナ部1で扱える無線カードMか否かを判断し(ST3)、扱える無線カードMと判断した際、制御部10は送信データ内のID番号とメモリ部12のジョブ管理テーブル12aのID番号とを比較する(ST4)。

【0035】この比較の結果、一致するID番号がある場合、制御部10はジョブ管理テーブル12aから上記ID番号に対応する記憶内容として、ジョブの内容を読み出し(ST5)、表示部13aでそのジョブの内容に対応した選択用のアイコンを表示する(ST6)。

【0036】たとえば、図4に示すように、テキストファイル化、ワープロファイル化、メール送信のそれぞれの選択用のアイコンが表示される。このとき、同時に、制御部10は音源部14を用いて認証OKを示す「ピ一」という電子音を発し、ユーザに音にて認証されたことを知らせている(ST7)。

【0037】上記表示に応じて、テキストファイル化が選択キーにより選択された際、制御部10はテキストモードと判断し(ST8)、ディレクトリ管理テーブル12bから上記ID番号に対応する記憶内容として、所

属、氏名、保存先ディレクトリ、保存先履歴を読み出し(ST9)、表示部13aで認証が正しく行われたことと、その読み出した内容を表示する(ST10)。

【0038】たとえば、図5に示すように、「[92001 開発部第1課 鈴木太郎さん]」を認証しました。保存先ディレクトリは「¥¥pc_suzuki¥tmp」です。他のディレクトリ：1：¥¥pc_suzuki¥tmp 2：¥¥pc_suzuki¥doc 3：¥¥sv_kaihatsu¥ka1¥suzuki¥doc」が表示される。

【0039】この表示時、選択キーにより他のディレクトリを選択するようにしても良い。この後、読み取部15により原稿が読み取られ画像メモリに記憶された際に、制御部10は、上記確認されたあるいは選択された保存先ディレクトリに基づいてLANインターフェース18を制御することにより、画像メモリに記憶されている原稿の画像データ(イメージデータ)を、LAN2を介して対応するファイルサーバ3あるいはパーソナルコンピュータ4へ送信する(ST11)。

【0040】上記ステップ6の表示に応じて、ワープロファイル化が選択キーにより選択された際、制御部10はワープロモードと判断し(ST12)、上記ステップ9、10が同様に行われることにより確認されたあるいは選択される保存先ディレクトリに基づいてLANインターフェース18を制御することにより、読み取部15で読み取って画像メモリ17に記憶されている原稿の画像データ(イメージデータ)を、イメージコード変換部16によりコードデータに変換した後(ST13)、LAN2を介して対応するファイルサーバ3あるいはパーソナルコンピュータ4へ送信する(ST14)。

【0041】上記ステップ6の表示に応じて、メール送信が選択キーにより選択された際、制御部10はメールモードと判断し(ST15)、読み取部15で読み取って画像メモリに記憶されている原稿の画像データ(イメージデータ)の所定エリアに記載されている複数の宛先を判断し(ST16)、原稿の画像データ(イメージデータ)の本文が記載されているエリアの内容を画像メモリ17から読み出して、LAN2を介して対応する各宛先のファイルサーバ3やパーソナルコンピュータ4へ送信する(ST17)。

【0042】上記ステップ4による比較の結果、一致するID番号がない場合、制御部10は送信データ内のID番号とメモリ部12のディレクトリ管理テーブル12b内のID番号とを比較する(ST18)。

【0043】この比較の結果、一致するID番号がない場合、制御部10は図11に示すように、表示部13aで「認証エラーです正しいカードを使用してください」という案内を行う(ST19)。このとき、同時に、制御部10は音源部14を用いて認証エラーを示す「ピッピッピー」という電子音を発し、ユーザに音にて認証エ

・ラーを知らせている（S T 2 0）。

【0044】上記ステップ13の比較の結果、一致するID番号がある場合、制御部10はディレクトリ管理テーブル12bから上記ID番号に対応する記憶内容として、所属、氏名、保存先ディレクトリ、保存先履歴を読み出し（S T 2 1）、表示部13aで認証が正しく行われたことと、その読み出した内容を表示する（S T 2 2）。

【0045】たとえば、図5に示すように、「[920001 開発部第1課 鈴木太郎さん]」を認証しました。保存先ディレクトリは「¥¥p c _s u z u k i ¥ t m p」です。他のディレクトリ：1：¥¥p c _s u z u k i ¥ t m p 2：¥¥p c _s u z u k i ¥ d o c 3：¥¥s v _k a i h a t s u ¥ k a 1 ¥ s u z u k i ¥ d o c」が表示される。

【0046】このとき、同時に、制御部10は音源部14を用いて認証OKを示す「ピー」という電子音を発し、ユーザーに音にて認証されたことを知らせている（S T 2 3）。

【0047】この表示時、選択キーにより他のディレクトリを選択するようにしても良い。この後、読み取部15により原稿が読み取られ画像メモリ17に記憶された際に、制御部10はテキストモードと判断し、上記確認されたあるいは選択された保存先ディレクトリに基づいてLANインターフェース18を制御することにより、画像メモリ17に記憶されている原稿の画像データ（イメージデータ）を、LAN2を介して対応するファイルサーバ3あるいはパーソナルコンピュータ4へ送信する（S T 2 4）。

【0048】また、上記スキャナ部1での画像入力処理の途中で、ユーザーの無線カードMが認証可能な範囲を離れた場合、画像入力処理を中断せずに最後まで行うようになっている。これにより、ユーザーの便を図ることができる。

【0049】また、無線カードを忘れた場合や無線カードの認証の調子が悪い場合、制御部10はファイルサーバ3の共有ディレクトリに保存するようになっている。これにより、最低限の機能を果たすことができる。

【0050】上記したように、ユーザーが携帯する無線カードのユーザ情報を読み取ることでユーザーを識別できるので、複数のユーザーが使用するスキャナで画像を入力するとき、ユーザーに余分な操作を要求したりあるいはセキュリティを低下させることなく、各ユーザーの設定に応じた適切な処理を実行できる。たとえば、予め設定されたユーザーそれぞれのディレクトリに送信・保存することができる。

【0051】また、ユーザーが設定した保存先ディレクトリとともにそのユーザーがそれまでに使用した保存先ディレクトリの履歴をコントロールパネルに表示して、その場でユーザーが選択できるようにしているので、標準の保存先ディレクトリの他に、そのユーザーが良く使用するデ

ィレクトリを容易に選択することができる。

【0052】また、ユーザーを認証するとそのユーザーが設定したテキストファイル化、ワープロファイル化、電子メール送信などジョブのフローがウィンドウズのアイコンの形で操作パネルの表示部に表示されるので、効率的なジョブ処理が可能になる。

【0053】また、ユーザーIDの認証の結果をユーザーに表示する操作パネルの表示部を用いて案内表示するとともに、音源部を用いて音声でユーザーに認証の結果を知らせるようにしたものである。これにより、ユーザーは認証の可否を明確に知ることができる。

【0054】なお、上記実施例では、ジョブの選択処理を行う場合について説明したが、これに限らず、ジョブの選択処理を行わずに、直接、ディレクトリ管理テーブルのID番号の比較処理に移行するようにしても良い。この場合、図9、図10のフローチャートに示す画像入力処理の中で、ステップ4～17が削除され、ステップ3により扱える無線カードMと判断した際に、ステップ18に進む。

【0055】また、ディレクトリ管理テーブル12bに保存先履歴が記憶されている場合について説明したが、図12に示すように、ディレクトリ管理テーブル12bに保存先履歴が記憶されていないようにしても良い。この場合、認証OK時、図13に示すように、ID番号の認証時の認証OKと、保存先ディレクトリからなる認証画面が表示される。

【0056】また、上記スキャナ部で行われている認証処理を、図14に示すように、複数のスキャナ部40、…とLAN41を介して接続されている管理装置42で一括して行うようにしても良い。この場合、認証用のディレクトリ管理テーブル（認証ファイル）は管理装置42内のメモリ部22aに存在している。

【0057】すなわち、スキャナ部40の無線カードリーダで読み取られたID番号がLAN41を通して管理装置41に問合せられる。管理装置41では上述したように認証処理が行われ、その結果がLAN41を通して該当するスキャナ部40に返される。

【0058】この様にすると、認証ファイルを集中して管理ができるので、仮に認証ファイルに変更が生じた場合でも、管理装置の認証ファイルのみ変更するだけで良く、複数のスキャナ部を容易に管理することができる。

【0059】すなわち、社員の異動などで認証情報を書き換える必要が生じた場合、すべてのスキャナ部の認証情報を書き換えて回る必要がなく、情報を一括管理している認証サーバとしての管理装置内の情報を書き換えるだけで良い。すべてのスキャナ部に対しての作業が必要なくなるので、書き換え作業の間違の可能性が少なくなるだけでなく、管理者の負担を大きく軽減することができる。

【0060】

【発明の効果】以上詳述したように、この発明によれば、複数のユーザが使用するスキャナで画像を入力するとき、ユーザに余分な操作を要求したりあるいはセキュリティを低下させることなく、各ユーザの設定に応じた適切な処理を実行できる画像入力システムおよび画像入力方法を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の画像入力システムの概略構成を説明するための図。

【図2】メモリ部のジョブ管理テーブルの記憶例を示す図。

【図3】メモリ部のディレクトリ管理テーブルの記憶例を示す図。

【図4】表示部のジョブ（アイコン）の選択画面を示す図。

【図5】表示部の認証画面を示す図。

【図6】所定領域にメールの複数の送信先（宛先）が記載されている原稿の例を示す図。

【図7】無線カードの概略構成を示すブロック図。

【図8】無線カードリーダの概略構成を示すブロック図。

【図9】画像入力処理を説明するためのフローチャート。

【図10】画像入力処理を説明するためのフローチャート。

* 【図11】表示部の認証エラー画面を示す図。

【図12】他の例におけるメモリ部のディレクトリ管理テーブルの記憶例を示す図。

【図13】他の例における表示部の認証画面を示す図。

【図14】他の例における画像入力システムの概略構成を説明するための図。

【符号の説明】

M…無線カード

1…スキャナ部

2…LAN

3…ファイルサーバ

4…パーソナルコンピュータ

10…制御部

11…無線カードリーダ

12…メモリ部

12a…ジョブ管理テーブル

12b…ディレクトリ管理テーブル

13…操作パネル

13a…表示部

14…音源部

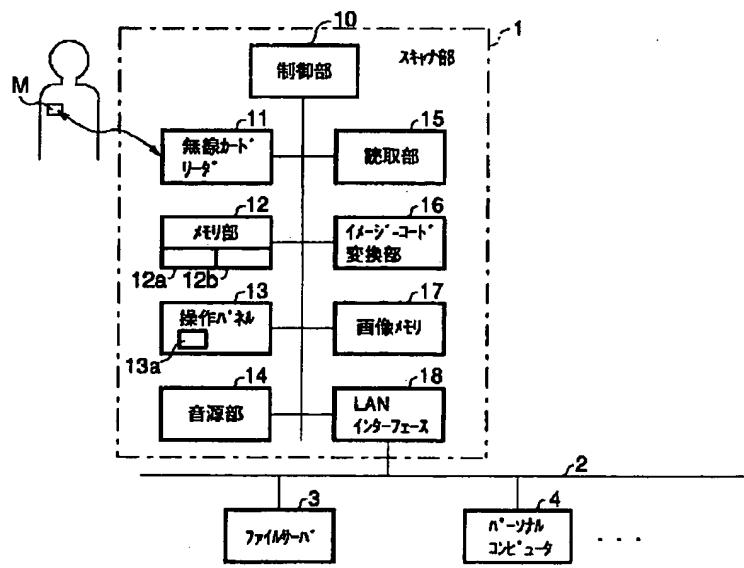
15…読み取部

16…イメージコード変換部

17…画像メモリ

18…LANインターフェース

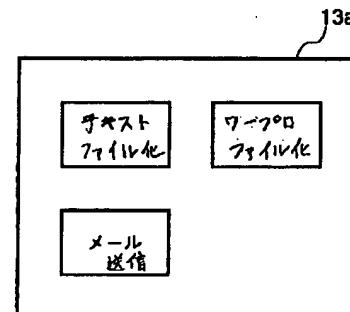
【図1】



【図2】

ユーザID	ジョブ
920001	テキストファイル化、ワープロファイル化、メール送信
...	...
...	...
...	...

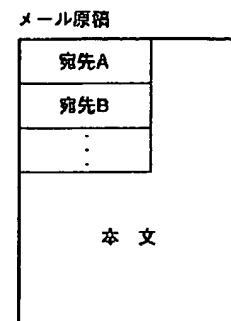
【図4】



【図3】

ユーティリティID	所属	氏名	保存先ディレクトリ	保存先履歴
920001	開発部第1課	鈴木 太郎	%pc_suzuki%tmp	1:%pc_suzuki%tmp 2:%pc_suzuki%doc 3:%sv_kaihatsu%\$uzuki%doc
930002	開発部第1課	佐藤 次郎	%sv_kaihatsu%tmp	1:-- 2:-- 3:--
930003	開発部第2課	田中 三郎	%pc_tanaka%share	1:%sv_kaihatsu%ka2%tanaka 2:%pc_tanaka%doc 3:%sv_kaihatsu%\$uzuki%doc
.
.
.

【図6】

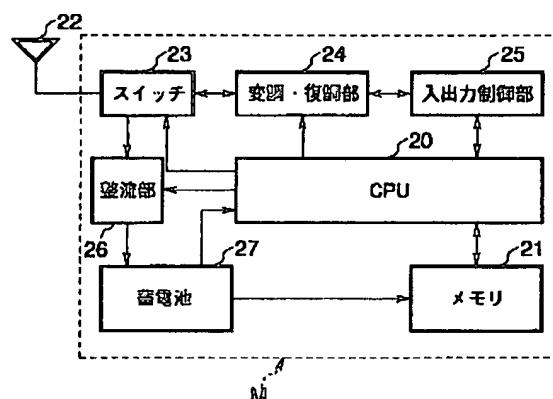


【図5】

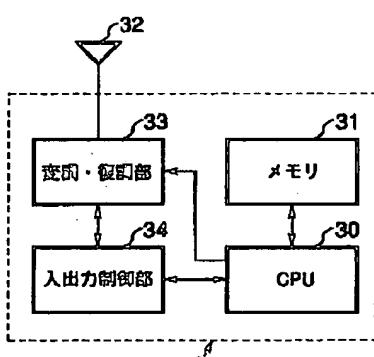
【図7】

13a

[920001 開発部第1課 鈴木 太郎さん] を認証しました
保存先ディレクトリは [%pc_suzuki%tmp] です
他のディレクトリ: 1:%pc_suzuki%tmp
2:%pc_suzuki%doc
3:%sv_kaihatsu%\$uzuki%doc

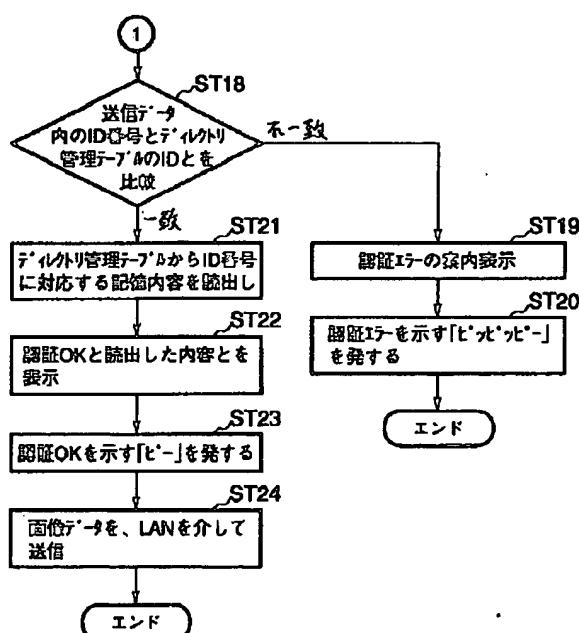


【図8】



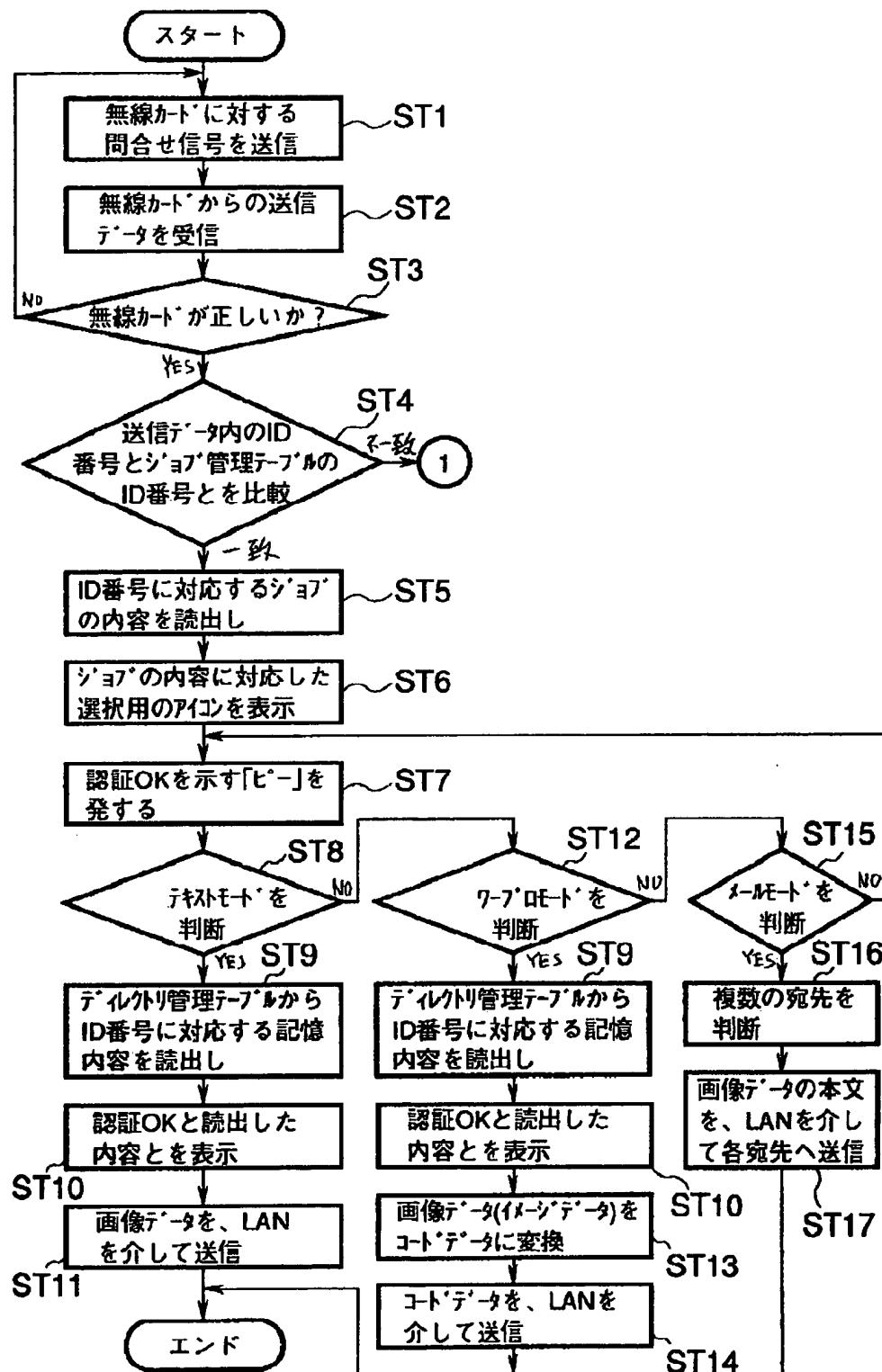
【図11】

【図10】



認証エラーです
正しいカードを使用してください

【図9】



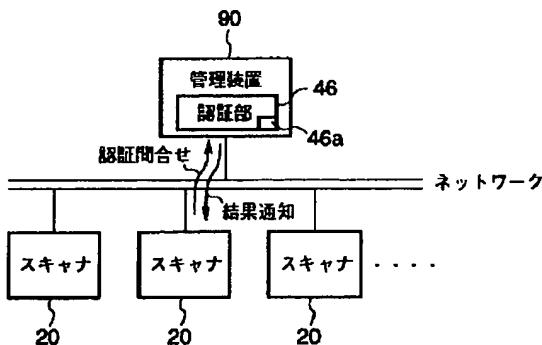
【図12】

1-9' ID	所属	氏名	保存先ディレクトリ
920001	開発部第1課	鈴木 太郎	¥pc_suzuki¥tmp
930002	開発部第1課	佐藤 次郎	¥sv_kaihatsu¥tmp
930003	開発部第2課	田中 三郎	¥pc_tanaka¥share
:	:	:	:

【図13】

[920001 開発部第1課 鈴木 太郎さん] を認証しました
保存先ディレクトリは [¥pc_suzuki¥tmp] です

【図14】



フロントページの続き

(72) 発明者 大垣 武史
神奈川県川崎市幸区柳町70番地 株式会社
東芝柳町工場内
(72) 発明者 岩瀬 章則
神奈川県川崎市幸区柳町70番地 株式会社
東芝柳町工場内

(72) 発明者 武田 美子
神奈川県川崎市幸区柳町70番地 株式会社
東芝柳町工場内
(72) 発明者 谷口 雅彦
神奈川県川崎市幸区柳町70番地 株式会社
東芝柳町工場内

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.